

「…また角をおられに  
来る分には拒みはしないわ。」  
ある魔界のお姫様  
生まれ持つ魔力は  
同級の魔物を寄せ付ける。  
力による支配は  
彼女には一切通用しなかつた…



悪魔の角を折った帰り道  
人間の住む村のはずれを歩いていたら  
すると、手負いのゴブリンが二匹  
生に執着する小さな生き物を見て  
少々興味があった私は  
助けをみることにした。  
「これから帰るところだけどついてくる？」



ゴブリンはお風呂についてきた  
背中当たるペニスは  
あきらかに勃起していたし  
ヌルヌルを漏らしながら  
こすりつけていた

さっきまで命を狙われて  
追われていたのに  
再び死ぬことになるというのは  
想像でしかなかったのかしら

まあ、拾ったこともあり多少の  
粗相は許してあげる……



「洗ってくれるんじゃないのかしら……ふうん……前もつて言っておくけど顔にかけたら潰してあげる。」

お  
は  
い  
マ  
カ  
イ  
ク  
!

ふんっ

「...」

ちゅ

!!

!!

ちゅ



「すごい勢いね、人生最期のお遊戯は楽しめたかしら……」

フッ

フッ

FD-13





キッ...  
キッ...

びい...  
びい...

びい...  
びい...

ト...  
ト...

ッ  
ッ  
ッ  
ッ

「...ふう、いっぱい  
射精できた感想はどうかしら  
顔にはかけないように  
言っただけでしょう？」  
「なんならあなたの尿道から魔力を流し込んで  
精液を逆流させて下半身からふつとばして  
あげてもいいのよ...」



「んぶっ!?!」

おっ  
おっ  
おっ



「けほっ……んっ……  
魔力で解除しようと思えば  
いつでもできるけど、

あなた程度に使うまでもないわ……  
あなたがチカラじゃなくて  
性で私をねじふせるつもりなら、  
ちよつと付き合っただけでいいよ」

ちよっ

んはっ



んむう…  
さつき角をへし折つて  
血が逸つているのかもしれない…

快楽は追及する…

この性欲の塊は  
うまく使えば  
都合のいいはけ口  
なるかもしれない

ドキ

ア  
ー

ドキ

ア  
ー





♡ん  
♡ふ  
♡ー  
♡つ  
...

く  
ち  
ち

く  
ち

お  
る

お  
る

ぢ  
ゃ  
ぢ  
ゃ  
ぢ  
ゃ  
ば  
い  
い

(私と出会ってから  
すでに勃起しきっていたペニス

ゴブリンの生態にくわしくはないが  
とても臭い……

唾液といい気分がいやらしい  
気持ちになつてしまう

同級の悪魔と違って  
からみつくニオイ

ゴブリンは相手を無理やり  
発情させて種を残そうとしているのね……

へろ……♡



うるさい。  
かみちぎっても  
いいのよ？

カリッ...

（ん）

と  
ち  
ゃ  
ん  
!!  
!!



んふっ…  
しよっばくて  
味すらしてくる

暴れないで  
おとなしく  
しゃぶられてなさい

身分を誇示するわけではないけど  
あなた相当運がいいのよ

んちゅっ…

ちゅぽちゅぽ

ふー  
くさいわ

キレイにしてあげる…♡

ぽんっ



喉奥までくわえて  
ほしいでしようけど  
してほしければ私より  
強くなつてから  
蹂躞して見せなさい…





まだまだ  
元気そうね

あなたの期待通りよ

まあた勃起させて  
本当スゲベなのね





この紋が気になるの？  
残念だけど、  
あなたは遊び相手、  
エッチをしても  
あなたの子供は残せないわ…  
まあ  
この紋章を破る勢いで  
魔力に挑戦してみてもいいわよ

ぽん、

ヒッ

ヒッ

ヒッ



あうっ…  
滑るように  
挿入されたペニス  
小柄なカラダに似合わず  
大きくて  
膈内で膨らんでいる  
「好きに動いてみなさい」

ゴックン  
ブルブルッ

にゅん!  
にゅん!









んはっ♡

強烈な膣内射精と  
イッたあとの追撃に

淫紋がはがれそうになってしまった  
この性欲の塊とのかけひき……

大事にしないと♡

膣内でかきまわされた精液に

しばらく悶えていたら  
ゴブリンははやばやと  
風呂をあとにしていた……

ゴボッ!

おっ!



…さうしたの、  
イカせてちょうだい  
じらそうつていうのね…  
頭はよくないけど、  
知恵はあるのね…





はんげあしっ♡...♡

はっ

はっはっ

はっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ



ゴゴゴ

ドン  
おっ

アッ

ズッ!

ゴブリンの性欲は一晚では終わらず  
結果的に犯されていた

も、もしかしたら受精しているかも

い、いい加減にしなさい  
○すわよ

ああーつらめつ…

やめなさい

ギギッ!

マッ!  
マッ!

は  
ちゅん!

は  
ちゅん!

ちゅん♡

ちゅん

ギッ

ギッ

んん



結局絶え間なく犯し続けられ  
ザーメンの受け皿にされてしまった

紋は切れていなかったから  
大丈夫だと思っただけ……

どうなることか

はあ……

がっ  
まる!

オレ!  
カチ!

と

……

おっ  
おっ



まさかあの一晚で  
身ごもつてしまふとは  
つかもこの感覚は何匹か  
入っっている...

おなかは重かつたけど  
ゴブリンの命令で  
こんな格好に...

しゅっ...

ズンッ

ウツ

ウツ

ウツ



完全になめられてしまっている  
粉碎してやりたいところだけど、  
紋をかいくぐって私を孕ませた事実は  
くつがえせなかつた

ム  
イラ  
いあ...

クル

すげ...

ヒッ





まさか  
この状況でも  
セツクスしよう  
と  
いおうの……  
あなただけの  
赤ちゃんに  
悪いわ……





あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ



くっ、苦しう...  
苦しいのだに  
気持ちがいい

きてっ  
膣内でおもっきりぶっかけて♡

らめえいっ♡

イクイクっ

びゅっ

ぶっぶっ

びゅっ  
びゅっ

これから赤ちゃんが  
生まれようとしている

私に種を付けたゴブリンは  
すっかり調子に乗っている  
産気のまえに  
少し余裕がなかった……

オ

ニ







ウメツ!  
かきだせ!

ムギン  
ムギン

フッ  
フッ

ムギン  
ムギン

ムギン  
ムギン

ボ

ムギン

休ませ...

ムダ...  
ダダ...  
セ!...  
スグ...  
ダセ

ハ...  
ハ...  
ハ...

ハ...  
ハ...  
ハ...

ぐ...  
ちよ...





無事産み落とし  
雑魚ゴブリンの母となった

立場、身分のことよりも  
産み終わった解放感から  
幸福感すら残っていた...



あれから私は  
このゴブリンに飼いな  
らされてしまっ  
ている

王位や面倒な持  
ち物を捨てて  
快楽に明け暮れ  
た

「こいつならい  
つでもつぶせる  
もの……」  
「そ、そろそ  
ろその無様にお  
つたたせてる  
オチンポ、どう  
にかなさい……  
♡」



「んふっ…♡キタあ♡」



容赦ない無遠慮膣内射精  
今まで味わえなかつた  
快感♡「雑魚ゴブリン最高♡」







干

んっ♡





「イタズラがすぎるわ  
あとで覚えてなさい♡」

いっしょ

いっしょ

アッ